

令和8(2026)年度(4月入学) 東京大学大学院農学生命科学研究科

大学院科目等履修生募集要項

1. 出願資格

学士以上の学位を有する者。ただし、大学院科目等履修生として在籍する予定の期間に、本学に正規課程の学生、研究生、聴講生又は科目等履修生として在籍する者及び在籍する見込みの者を除外する。

2. 受入人員

各科目若干名

3. 申請可能科目

科目番号	授業科目名	単位	担当教員	曜日 時限	開講 ターム
3912135	生物配列解析基礎	1	清水 謙多郎、大島 研郎 他	水5・6限	S1
3912136	ゲノム情報解析基礎	1	門田 幸二、森 宙史	火5・6限	S1
3912103	バイオシステムスティクス基礎論	1	岩田 洋佳	金5・6限	S1
3912139	構造バイオインフォマティクス基礎	1	寺田 透、永田 宏次、川端 猛	木5・6限	S1
3912106	分子モデリングと分子シミュレーション	1	寺田 透	木5・6限	S1S2
3912108	機能ゲノム学	1	門田 幸二、谷澤 靖洋、東 光一	火5・6限	S1S2
3912109	システム生物学概論	1	有田 正規	集中	S2
3912157	フィールドインフォマティクス	1	大森 良弘、井澤 育、岩田 洋佳、 郭 威、反田 直之	水5・6限	S2
3912111	農学生命情報科学特論 I	1	孫 建強	集中	S2
3912112	農学生命情報科学特論 II	1	櫻井 玄 他	金5・6限	S2
3912140	農学生命情報科学特論 III	1	越塚 登 他	集中	S1
3912143	国際農業と文化ゼミナール	2	各教員(農学国際専攻教員 他)	集中 (2026/6/10~12 の 3日間)	S2

※申請できる単位数の制限については、【7. 履修単位の制限】を参照すること。

※各科目の講義内容や授業スケジュール等はシラバスを参照すること。

※各科目に関する質問・相談については、各科目のシラバスに記載されている連絡先に問い合わせること。

【参考】

2026年度講義日程(試験期間含) :

S1 ターム 令和8(2026)年4月6日～令和8(2026)年6月3日

S2 ターム 令和8(2026)年6月4日～令和8(2026)年7月28日

A1 ターム 令和8(2026)年10月2日～令和8(2026)年12月2日

A2 ターム 令和8(2026)年12月3日～令和9(2027)年2月4日

4. 出願期間

出願期間：令和8(2026)年1月21日(水)～令和8(2026)年1月28日(水) 17時まで

5. 出願方法・提出書類等

(1) 出願方法

出願期間内に、下記(2)①～⑤の書類等を提出用フォルダにアップロードすること。

(各ファイル名は「氏名_手続き書類名」としてアップロードすること。)

【提出用フォルダ】

<https://forms.office.com/r/AwSsVE9PFa>

(2) 提出書類等

	手続書類	数	注意事項
①	大学院科目等履修生入学願書 (研究科所定様式)	1	<ul style="list-style-type: none">・所定欄に②の顔写真データを貼付すること。・PDFに変換して提出すること。
②	顔写真データ	1	<ul style="list-style-type: none">・①に貼付したものと同じ画像データ。・身分証作成に使用するため、jpeg形式、サイズ：縦308ピクセル×横236ピクセル、最大1MBまで、正面上半身脱帽無背景、3ヶ月以内に撮影したもの。
③	大学院科目等履修生 志望理由書 (研究科所定様式)	履修希望 科目毎	<ul style="list-style-type: none">・複数の科目の履修を申請する場合、<u>科目毎に作成</u>すること。・内容や字数は下記(注)を参照すること。・PDFファイルに変換して提出すること。なお、複数科目の志望理由書を提出する場合は、1つのPDFに結合すること。
④	出身大学又は大学院 (最終学歴)の卒業証明書	1	<ul style="list-style-type: none">・日本語又は英語以外で記載されている場合は、和訳又は英訳を添付すること。・願書に記載した氏名と証明書の氏名が異なる場合は、改姓したことがわかる書類(戸籍抄本等)を提出すること。・原本の写しをPDFに変換して提出すること。なお、入学手続時に原本を提出すること。
⑤	検定料払込証明書(C票)	1	<ul style="list-style-type: none">・【6. 検定料】を参照のこと。

(注) 大学院科目等履修生志望理由書における各授業科目の記入内容、字数は下記の通りである。

授業科目名	記入内容、字数
生物配列解析基礎	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000字の日本語で記入すること。
ゲノム情報解析基礎	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000字の日本語で記入すること。
バイオスタティクス基礎論	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000字の日本語で記入すること。

構造バイオインフォマティクス基礎	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
分子モデリングと分子シミュレーション	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
機能ゲノム学	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
システム生物学概論	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
フィールドインフォマティクス	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
農学生命情報科学特論 I	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
農学生命情報科学特論 II	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
農学生命情報科学特論 III	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字の日本語で記入すること。
国際農業と文化ゼミナール	履修を志望する動機・目的について、自身の業務・関心等との関連性と発展性を踏まえ、1,000～2,000 字以内の日本語で記入すること。

6. 検定料

検定料：9,800 円

支払方法：所定の検定料振込依頼書に必要事項を記入の上、最寄りの金融機関（郵便局は不可）から振り込むこと（ATM、インターネット等は利用しないこと）。振り込み手続き後、振込金受取書(B 票)及び検定料払込証明書(C 票)を受け取り、所定の「検定料振込金受付証明書 (C票) 貼付台紙」に「C 票」を貼り付けて、PDF に変換して提出すること。

7. 履修単位の制限

- (1) 既に単位を修得した授業科目を再度履修することはできない。
- (2) 一回の出願で履修を申請することができる単位数は、8 単位を上限とする。

8. 選考方法

書類審査による。

9. 入学時期

令和8(2026)年4月1日

10. 在籍期間

令和8(2026)年4月1日～令和8(2026)年9月30日

11. 入学許可及び入学手続き

選考の結果は、令和8(2026)年3月上旬に、本人宛にメールにて通知する。

入学を許可された者は、3月中の所定の期間内に必要な入学手続き（入学料・授業料の納付及び入学手続書類の提出）を行うこと。期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

<令和8(2026)年度大学院科目等履修生授業料等（予定）>

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ① 入学料 | 28,200円 |
| ② 授業料 1単位につき | 14,800円（授業料=総単位数×14,800円） |

※上記納付金額は予定額であり、入学時または在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

12. 注意事項

- (1) 提出された書類、および検定料は、いかなる事情があっても返還しない。また、一度提出した書類の差し替えは一切認めない。
- (2) 提出した書類について虚偽の記載をした者、出願資格の但し書きに定める除外規定に該当すると判明した者又は本学の規則に違反した者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (3) 本研究科の大学院科目等履修生は、「4月入学」及び「10月入学」に分けて、入学を受け付ける。
- (4) 本研究科で大学院科目等履修生の対象科目として承認された科目のみ、履修することができる。
- (5) 授業の実施形態（対面もしくはオンライン）と実施日はシラバスを確認すること。講義実施日に出席できる見込みがあるか確認のうえ出願すること。
- (6) 大学院科目等履修生としての在籍期間は、【10. 在籍期間】のとおりとする。
- (7) 本研究科の大学院科目等履修生として在籍している者が、在籍期間終了日以前に新たな履修許可を受けた場合に限り、当時の在籍期間を終了することなく継続して大学院科目等履修生として在籍できるものとする。
- (8) 本研究科の大学院科目等履修生として在籍していた者が、在籍期間が終了した日から6月以内に新たな履修許可を受けた場合は、在籍期間が終了した日から新たに在籍期間を開始する日までの期間について、大学院科目等履修生として在籍していたものとみなす。
- (9) 上記(7)および(8)に該当する出願者は、検定料および入学料を支払う必要はないが、授業料は納入する必要がある。
- (10) 本研究科では、大学院科目等履修生としての在籍期間は、継続して2年を超えることはできない。なお、在籍期間については、上記(8)のみなし在籍期間を含めるものとする。
- (11) 外国籍を有する者については、履修単位数の関係で、本研究科の大学院科目等履修生では留学ビザを取得できないので留意すること。なお、選考の結果、大学院科目等履修生としての入学を許可され

た場合であっても、履修許可期間中の在留資格を有さない場合は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

- (12) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から、学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っている。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としている。従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ選考により大学院科目等履修生として受入予定となっても、入学が許可できない場合があるので注意すること。
- (13) 本研究科は、出願に当たって知り得た出願者の氏名、住所その他の個人情報については、①出願処理、選考実施、②選考結果発表、③入学手続業務のために利用する。また、入学した者については、同個人情報を①教務関係（学籍管理等）、②学生支援関係（図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務のために利用する。

1 3. 問合せ先

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科 教務課学生支援チーム 大学院学生担当

Email : daigakuin.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

※各科目に関する質問・相談（講義内容や授業スケジュール等）については、各科目のシラバスに記載されている連絡先に問い合わせること。